

波照間永吉教授 経歴・業績一覧

凡例

- ・学歴・学位・職歴・学界及び社会における活動等・受賞歴・単著・共著・編著・報告書・論文・講演・研究発表・CD・DVD・その他の項目に分けて業績を作成した。
- ・講演・研究発表以外の項目については月日のうち日の部分は省略した。
- ・講演・研究発表について、開催場所が不明の場合は省略した。

一九五〇年八月十一日 沖縄県石垣市宇登野城に生まれる

学歴

一九七四年三月 琉球大学法文学部国語国文学科卒業

一九七六年三月 琉球大学法文学部国語国文学科研究生修了

一九八一年三月 法政大学大学院人文科学研究科日本文学専攻修士課程修了

一九八六年三月 法政大学大学院人文科学研究科日本文学専攻博士課程単位取得満期退学

学位

一九九五年三月十七日 博士（文学）学位取得（法政大学大学院）

職歴

- 一九八六年四月 沖縄県立芸術大学附属研究所講師（一九九〇年三月まで）
- 一九九〇年四月 沖縄県立芸術附属研究所大学助教授（一九九四年三月まで）
- 一九九三年四月 沖縄県立芸術大学大学院造形芸術研究科助教授（一九九四年三月まで）
- 一九九四年四月 沖縄県立芸術大学附属研究所教授
- 一九九四年四月 沖縄県立芸術大学大学院造形芸術研究科教授
- 一九九六年四月 沖縄県立芸術大学芸術文化学研究科（後期博士課程）教授
- 一九九九年四月 沖縄県立芸術大学附属研究所所長（二〇〇三年三月まで）
- 二〇〇五年四月 沖縄県立芸術大学附属研究所所長（二〇〇九年三月まで）
- 二〇一三年四月 沖縄県立芸術大学附属研究所所長（二〇一五年三月まで）

学界及び社会における活動等（現職のみ）

沖縄文化協会会長

『沖縄文化』編集委員長

「沖縄文化協会賞」運営委員長

奄美沖縄民間文芸学会常任委員

沖縄県史編集委員

石垣市史編集委員

南城市史編集委員

南城市史「御嶽・グスク編」御嶽班班長

琉球舞踊保存会顧問

国立劇場おきなわ評議員

首里城整備検討委員会委員

受賞歴

一九八五年 第七回 沖縄文化協会賞（仲原善忠賞）

一九九五年 第二三回 伊波普猷賞

一九九八年 第十九回 沖縄研究奨励賞

二〇〇四年 第二〇回 八重山毎日文化賞

二〇一一年 第三二回 沖縄タイムス社出版文化賞 『琉球・沖縄芸能史年表』で

二〇一二年 第三三回 沖縄タイムス社出版文化賞 『竹富方言辞典』で

二〇一三年 第一回 日本学賞

単著・共著・編著

1. 一九七八年『仲原善忠全集総索引・歌謡研究索引』沖縄タイムス社（単著）

2. 一九八九年『日本民謡大観（沖縄・奄美）八重山諸島篇』日本放送出版協会（共著）

3. 一九九〇年『日本民謡大観（沖縄・奄美）宮古諸島篇』日本放送出版協会（共著）

4. 一九九一年『日本民謡大観（沖縄・奄美）沖縄諸島篇』日本放送出版協会（共著）

5. 一九九三年『日本民謡大観（沖縄・奄美）奄美諸島篇』日本放送出版協会（共著）

6. 一九九五年『沖縄古語大辞典』角川書店（共著）

7. 一九九七年『定本 琉球国由来記』角川書店（共著）

8. 一九九九年『南島祭祀歌謡の研究』砂子屋書房（単著）

9. 二〇〇二年『定本 おもろさうし』角川書店（共著）
10. 二〇〇二年『石垣市史叢書索引Ⅰ』石垣市役所（共著）
11. 二〇〇二年『石垣方言語彙一覧』文部科学省特定領域研究「環太平洋の「消滅に瀕した言語」に関する緊急調査研究」A4-017（共著）

12. 二〇〇三年『新編 沖繩の文学』沖繩時事出版（共著・監修・編集）

13. 二〇〇四年『鎌倉芳太郎資料集（ノート篇Ⅰ）美術・工芸』沖縄県立芸術大学附属研究所（単著）

14. 二〇〇六年『鎌倉芳太郎資料集（ノート篇Ⅱ）民俗・宗教』沖縄県立芸術大学附属研究所（単著）

15. 二〇〇七年『琉球・沖縄芸能史年表』（第3集）国立劇場おきなわ（共編）

16. 二〇〇七年『琉球の歴史と文化—『おもろさうし』の世界—』角川書店（共著・編集）

17. 二〇〇八年『新編 沖繩の文学（増補改訂版）』沖繩時事出版（共著・監修・編集）

18. 二〇一〇年『琉球・沖縄芸能史年表（古琉球く近代篇）』国立劇場おきなわ（共著）

19. 二〇一一年『竹富方言辞典』南山舎（共著）

20. 二〇一三年『おもろ研究会1500回記念 おもろを歩く』（共編・著）琉球書房（共著）

21. 二〇一四年『鎌倉芳太郎資料「文書資料」目録』沖縄県立芸術大学附属研究所（共著）

22. 二〇一五年『鎌倉芳太郎資料集（ノート篇Ⅲ）歴史・文学』沖縄県立芸術大学附属研究所（単著）

23. 二〇一六年『鎌倉芳太郎資料集（ノート篇Ⅳ）雑纂』（2016年3月刊行予定）沖縄県立芸術大学附属研究所（共著）

報告書

1. 一九八五年『御嶽—御嶽信仰習俗調査報告書Ⅱ—』沖縄県教育庁文化課（共著）
2. 一九八八年『沖繩の神歌Ⅰ（宮古諸島）—沖繩の神歌伝承活動調査報告書—』沖縄県教育庁文化課（共著）
3. 一九八九年『沖繩の神歌Ⅱ（八重山諸島Ⅰ）—沖繩の神歌伝承活動調査報告書—』沖縄県教育庁文化課（共著）

4. 一九八九年『慶良間諸島の文献資料集』沖縄県慶良間調査委員会（共著）
5. 一九九〇年『沖縄の神歌Ⅲ（八重山諸島2）―沖縄の神歌伝承活動調査報告書―』沖縄県教育庁文化課（共著）
6. 一九九二年『沖縄の神歌Ⅴ（沖縄本島・周辺離島）―沖縄の神歌伝承活動調査報告書―』沖縄県教育庁文化課（共著）
7. 一九九四年『復帰20周年記念沖縄研究国際シンポジウム 沖縄文化の源流を探る』「復帰20周年記念沖縄研究国際シンポジウム」実行委員会（共著）
8. 二〇〇一年『第3回「沖縄研究国際シンポジウム」世界につなぐ沖縄研究沖縄大会・シドニー大会』第3回「沖縄研究国際シンポジウム」実行委員会（共著）
9. 二〇〇一年『沖縄と中国雲南省少数民族文化の比較研究』平成10～12年度文化省科学研究費補助金（基礎研究A）成果報告書（共著）
10. 二〇〇二年『第4回「沖縄研究国際シンポジウム」世界に拓く沖縄研究』第4回「沖縄研究国際シンポジウム」実行委員会（共著）
11. 二〇〇三年『第4回「沖縄研究国際シンポジウム」ヨーロッパ大会 世界に拓く沖縄研究』第4回「沖縄研究国際シンポジウム」実行委員会（共著）
12. 二〇〇五年『琉球・沖縄芸能史年表』（第1集）（共編）国立劇場おきなわ（共著）
13. 二〇〇六年『琉球・沖縄芸能史年表』（第2集）（共編）国立劇場おきなわ（共著）
14. 二〇〇六年『小浜島の芸能』『記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財 小浜島の芸能 民俗文化財地域伝承活動（資料作成・周知）報告書』竹富町教育委員会（共著）
15. 二〇〇七年『琉球・沖縄芸能史年表』（第3集）（共編）国立劇場おきなわ（共著）
16. 二〇〇八年『琉球・沖縄芸能史年表』（第4集）（共編）国立劇場おきなわ（共著）
17. 二〇〇九年『琉球・沖縄芸能史年表』（第5集）国立劇場おきなわ（共著）
18. 二〇一〇年『琉球・沖縄芸能史年表』（第6集）国立劇場おきなわ（共著）

論文

19. 二〇一一年『琉球・沖縄芸能史年表』（第7集）国立劇場おきなわ（共著）
20. 二〇一三年「沖縄県立芸術大学・移動大学の実施に関する報告」（柳悦州、久万田晋と共著）（共著）
1. 一九七五年「外ドウミと家ヌトウジ」『琉球文学小論集』琉球文学特講ゼミナル編（自家版）
2. 一九七六年「八重山歌謡研究」琉球大学研究生論文
3. 一九八一年「八重山歌謡歌形論」（修士論文）法政大学大学院
4. 一九八一年「小野重朗『南島歌謡の歌形の系譜』に関する若干の疑問」『沖縄文化』第55号 沖縄文化協会
5. 一九八二年「八重山歌謡の歌形」『やえやま』（八重山郷友会会報）
6. 一九八二年「八重山のアンガマ問答覚書―事例の報告を中心に―」『琉球の言語と文化』仲宗根政善先生古稀記念論集刊行委員会
7. 一九八二年「八重山歌謡の歌形の諸相」『沖縄文化研究』9 法政大学沖縄文化研究所
8. 一九八二年「久米島おもしろの解釈―『おもしろさうし』第21―「くめの二まぎりおもしろ御双紙」の本文と解釈」沖縄久米島調査委員会編『沖縄久米島』弘文堂
9. 一九八三年「袖垂れ」小考」『沖縄文化』第20巻1号 沖縄文化協会
10. 一九八三年「琉球国由来記」所載久米島御嶽の現状」『沖縄久米島資料篇』沖縄久米島調査委員会編 弘文堂
11. 一九八四年「八重山歌謡の形態―『場』と歌唱法を中心に―」『文学』岩波書店
12. 一九八五年「久高島及び周辺聖域の神歌―久高島関係オモロの解釈を中心に―」法政大学沖縄文化研究所久高島調査委員会編『沖縄久高島調査報告書』法政大学沖縄文化研究所
13. 一九八五年「〔研究ノート〕オモロ解説への階梯―対句部における記載の省略について」『沖縄文化』64号 沖縄文化協会

14. 一九八五年「ユングトゥウ覚書―八重山ユングトゥウの形態―」『奄美沖縄民間文芸研究』第8号 奄美沖縄民間文芸研究会

15. 一九八五年「八重山の歴史と芸能」『自主の道』『自主の道』編集委員会

16. 一九八六年『おもろさうし』の憑霊表現―サシブ・ムツキを中心とした予備的考察―『文学』岩波書店

17. 一九八七年「オモロの対句部と反復部をめぐって―オモロの反復を中心に―」『琉球方言論叢』琉球方言論叢刊行委員会

18. 一九八八年「八重山の御嶽信仰習俗覚書」『沖縄芸術の科学』創刊号 沖縄県立芸術大学附属研究所紀要

19. 一九八九年「八重山の風土・歴史・文化」『沖縄芸術の科学』2号 沖縄県立芸術大学附属研究所紀要

20. 一九八九年「巻11オモロの重複関係ノート」『沖縄芸術の科学』2号 沖縄県立芸術大学附属研究所紀要

21. 一九八九年「近代以前のマリアー史料にあらわれた疫病関係記事を中心に」『石垣市史』資料篇 石垣市役所

22. 一九八九年『おもろさうし』の記載法―記載の省略とオモロの本文復元をめぐって―『文学』岩波書店

23. 一九八九年「アカハチの乱」をめぐる史歌―オモロ・キューナ・アヤグと八重山の歌謡伝統―『石垣市史のひろば』15号 石垣市役所

24. 一九八九年「竹富島の種子^{タニドゥル}取り祭の歌謡―祭祀と歌謡の相関についての予備的考察―」『沖縄文化―沖縄文化協会創設40周年記念誌』沖縄文化協会

25. 一九九〇年「聖空間ケオノウチをめぐって」『物語』創刊号 砂子屋書房

26. 一九九〇年「宮古来間島のヤーマスィブナカ―儀礼過程と歌謡―」『小野重朗先生傘寿記念論文集 南西日本の歴史と民俗』第一書房

27. 一九九一年「八重山―風土と歴史そして祭祀習俗」『日本歴史と芸能―第十四巻・列島の神々―』平凡社

28. 一九九一年「小浜島の結願祭」『沖縄のまつり』沖縄タイムス社

29. 一九九二年「小浜島の御嶽の神歌」『沖縄芸術の科学』第5号 沖縄県立芸術大学附属研究所紀要

30. 一九九二年 「伊是名島のイルチャヨー、ユーニゲーの神歌」 『沖縄の神歌Ⅴ（沖縄本島・周辺離島）―沖縄の神歌伝承活動報告書―』 沖縄県教育庁文化課
31. 一九九三年 「小浜島の結願祭」 『沖縄芸術の科学』 第6号（沖縄県立芸術大学附属研究所紀要）
32. 一九九三年 「オモロに見る美意識と装い」 『化粧文化』 No.28 ポーラ文化研究所
33. 一九九三年 「沖縄八重山の祭祀歌謡」 『沖縄文化研究』 20号 法政大学沖縄文化研究所紀要
34. 一九九四年 「西表島古見の結願祭と狂言」 『沖縄芸術の科学』 第7号 沖縄県立芸術大学附属研究所紀要
35. 一九九四年 「西表島古見の結願祭と芸能「亀組」」 『沖縄県の民俗芸能―沖縄県民俗芸能緊急調査報告書―』 沖縄県教育委員会
36. 一九九四年 「沖縄の古代文学研究―『神歌』研究の現場から―」 『沖縄文化の源流を探る―環太平洋地域の中の沖縄―』 復帰20周年記念沖縄研究国際シンポジウム実行委員会
37. 一九九五年 『沖縄古語大辞典』 の構想とその特色 『国語科通信』 平成7年3月号 角川書店
38. 一九九六年 「重複オモロの考察―「重複」の実態と「重複」概念の提示」 『沖縄文化研究』 22号 法政大学沖縄文化研究所
39. 一九九六年 「重複オモロの実相」 『沖縄芸術の科学』 8号 沖縄県立芸術大学附属研究所紀要
40. 一九九六年 「祭祀と歌謡―八重山―」 岩波講座『日本文学史』 第15巻 琉球文学・沖縄の文学 岩波書店
41. 一九九七年 「竹富島古見のプーリイ」 『沖縄県の祭り・行事―沖縄県祭り・行事調査報告書―』 沖縄県教育委員会刊
42. 一九九七年 『琉球国由来記』 の世界―近世沖縄の文物と宗教世界への導き― 『本の旅人』 平成9年5月号 角川書店
43. 一九九七年 「伊波普猷―「沖縄学の父」の古琉球フォークロア研究―」 『アエラムック 民俗学がわかる』 朝日新聞社

44. 一九九八年 「沖縄八重山の仮面・仮装の神々―神の文芸を考えるための序章―」 『沖縄から芸術を考える』 芸術文化学叢書1 沖縄県立芸術大学刊
45. 一九九八年 「古見のプーリイの祭祀と歌謡」 『沖縄芸術の科学』 第10号 沖縄県立芸術大学附属研究所紀要
46. 一九九八年 「古見の結願祭と狂言」 『沖縄芸術の科学』 第10号 沖縄県立芸術大学附属研究所紀要
47. 一九九八年 「琉球国由来記」 の説話記事 『季刊沖縄』 第13号 沖縄協会
48. 一九九八年 「琉球国由来記」 の説話関連記事(覚書) 『沖縄学』 沖縄学研究所紀要2号 沖縄学研究所刊
49. 一九九八年 「鎌倉芳太郎が集めた琉球文学研究資料」 『文学』 岩波書店
50. 二〇〇〇年 「琉球文学にみる憑霊表現―憑霊説話と神託をめぐって―」 『奄美沖縄民間文芸研究』 23号 奄美沖縄民間文芸研究会
51. 二〇〇〇年 『おもろさうし』 にみる古琉球の想念 『日本語学』 19巻8号 明治書院
52. 二〇〇一年 『島中おもろ』 を読む 『沖縄芸術の科学』 13号 沖縄県立芸術大学附属研究所紀要
53. 二〇〇一年 「書評 内田順子『宮古島狩俣の神歌―その継承と創成』」 『日本文学』 50号 日本文学協会
54. 二〇〇一年 「雲南省元陽県全福庄のハニ族文化(報告)」 『沖縄と中国雲南省少数民族の基層文化の比較研究』 (平成10～12年度文部省科学研究費補助金〈基礎研究A〉 成果報告書)
55. 二〇〇一年 「雲南省元陽県銅鋪村と菁口村のハニ族文化(報告)」 『沖縄と中国雲南省少数民族の基層文化の比較研究』 (平成10～12年度文部省科学研究費補助金〈基礎研究A〉 成果報告書)
56. 二〇〇一年 「中国雲南省大姚県曇華郷彝族の插花祭」 『沖縄と中国雲南省少数民族の基層文化の比較研究』 (平成10～12年度文部省科学研究費補助金〈基礎研究A〉 成果報告書)
57. 二〇〇一年 「オモロの表現と構造」 『復帰25周年記念第3回沖縄研究国際シンポジウム 世界につなぐ沖縄研究』 復帰25周年記念第3回「沖縄研究国際シンポジウム」実行委員会
58. 二〇〇一年 「沖縄の船・航海・祭祀―説話と歌謡から―」 『東北学』 5号 東北芸術工科大学東北文化研究センター

59. 二〇〇二年 「沖縄の祭祀習俗」 『沖縄沖縄県立芸術大学附属研究所県立芸術大学大学放送公開講座 沖縄の民俗文化と芸術（Ⅰ・Ⅱ）テキスト』
60. 二〇〇二年 「沖縄の神々の形象―説話の神と祭祀・芸能の神―」 『キリスト教文化研究所年報 第35号』 宮城学院女子大学キリスト教文化研究所
61. 二〇〇二年 「八重山歌謡にみる地名」 『沖縄芸術の科学』 14号 沖縄県立芸術大学附属研究所紀要
62. 二〇〇三年 「古琉球の“移動”―オモロにみる人々の動き―」 『第4回沖縄研究国際シンポジウム 世界に拓く沖縄研究』 沖縄研究国際シンポジウム実行委員会
63. 二〇〇二年 「奄美とオモロ」 『奄美沖縄民間文芸学』 2号 奄美沖縄民間文芸学会
64. 二〇〇二年 「覚書」 アイヌ文学と琉球文学 『東北学』 6号 東北芸術工科大学東北文化研究センター
65. 二〇〇三年 「沖縄の船・航海・祭祀」 『第4回沖縄研究国際シンポジウム ヨーロッパ大会報告書 世界に拓く沖縄研究』 沖縄研究国際シンポジウム実行委員会
66. 二〇〇三年 「琉球文学の枠組」 『別冊 環―琉球文化圏とは何か―』 藤原書店
67. 二〇〇三年 「宮良當壮先生と八重山歌謡研究」 『宮良當壮全集 月報』 20号 第一書房
68. 二〇〇三年 「鎌倉芳太郎先生と沖縄」 『沖縄の至宝と型絵染』 香川県文化会館
69. 二〇〇三年 「私たちの郷土の文学、琉球文学」 『新編沖縄の文学』 沖縄時事出版社
70. 二〇〇四年 「与那国島の聖地と祭祀（1）」 『沖縄芸術の科学』 16号 沖縄県立芸術大学附属研究所紀要
71. 二〇〇六年 『『おもろさうし』と玉城』 『玉城村史』 第8巻上 文献資料編
72. 二〇〇六年 「小浜島の盆行事の芸能」 『記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財 小浜島の芸能 民俗文化財地域伝承活動（資料作成・周知） 報告書』 竹富町教育委員会
73. 二〇〇六年 「小浜島の芸能の特質」 『記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財 小浜島の芸能 民俗文化財地域伝承活動（資料作成・周知） 報告書』 竹富町教育委員会

74. 二〇〇六年「八重山歌の比喩三題」『うらそえ文芸』5号 浦添市文化協会
75. 二〇〇六年「汀間の女の祭りーウシデークの再興を目指す人々（上）」『相聞』31号 相聞の会
76. 二〇〇七年「鎌倉芳太郎の沖縄研究」『朝日百科 人間国宝』朝日新聞出版
77. 二〇〇七年「首里城をめぐる水」『水と世界遺産ー景観・環境・暮らしをめぐるー』小学館
78. 二〇〇七年「汀間の女の祭りーウシデークの再興を目指す人々（下）」『相聞』32号 相聞の会
79. 二〇〇七年「琉球文学の固有性と主体性」『環』30号 藤原書店
80. 二〇〇七年「琉球文学研究にみる柳田國男と折口信夫」『国文学解釈と鑑賞』平成19年12月号 至文堂
81. 二〇〇九年「薩摩入り後の大和 “芸能” の受容」『うらそえ文芸』14号 浦添市文化協会
82. 二〇〇九年「ヲナリ神と琉球文学の中の海の文芸」『三色旗』（慶応大学通信教育学部補助教材）慶応義塾大学出版会
83. 二〇〇九年「アカインコの相貌」『沖縄文化』106号 沖縄文化協会
84. 二〇一〇年「碑文とオモロからみる古琉球の王府祭儀」『沖縄県史 各論編3 古琉球』沖縄県教育委員会
85. 二〇一〇年「オモロにうたわれた南城市」『南城市史 総合版（通史）』南城市教育委員会
86. 二〇一一年「『おもろさうし』からみた勝連と阿麻和利」『きむたかの翼ー沖縄の中高生の舞台「肝高の阿麻和利」構想からの軌跡』長崎出版
87. 二〇一二年「古琉球のチジウリ」『奄美沖縄民間文芸学』第11号 奄美沖縄民間文芸学会
88. 二〇一二年「歌謡にみる古琉球の航海と祭祀」『琉球・沖縄の芸能ーその継承と世界へ拓く研究』彩流社
89. 二〇一二年「久志地区の芸能の概要」『芸能 名護市史 本編・8』名護市
90. 二〇一二年「家の祭儀と芸能」『芸能 名護市史 本編・8』名護市
91. 二〇一二年「名護市のオモロ」『芸能 名護市史 本編・8』名護市
92. 二〇一二年「用語解説」『芸能 名護市史 本編・8 資料編』名護市

93. 二〇一三年 「歴史の記憶装置としての『史歌』論序説」『ワセダアジアレビュー』13号 早稲田大学アジア研究機構 メコン社

94. 二〇一三年 「今帰仁とオモロ」『おもしろ研究会1500回記念 おもしろを歩く』琉球書房

95. 二〇一三年 『世ば稔れ』考（上）『沖縄文化』114号 沖縄文化協会

96. 二〇一四年 「鎌倉芳太郎収集の沖縄文化関係資料」『麗しの琉球の記憶―鎌倉芳太郎が発見した“美”の杜 沖縄文化の杜

97. 二〇一四年 「古琉球の精神を尋ねて―鎌倉芳太郎の琉球民俗調査―」『麗しの琉球の記憶―鎌倉芳太郎が発見した“美”の杜 沖縄文化の杜

98. 二〇一四年 『古事集』―『琉球国由来記』と『琉球国旧記』の間にあるもの』『沖縄文化』116号 沖縄文化協会

99. 二〇一四年 「第二期『沖縄文化』（第1号〜第68号）の歩み」『沖縄文化』復刻版解説 不二出版

100. 二〇一四年 「琉球文学について―その固有性を考える―」『季刊沖縄』第47号 公益財団法人沖縄協会

101. 二〇一五年 「琉球文学を考える」韓国琉球・沖縄学会編『黒潮の海道と東アジア』韓国琉球・沖縄学会

講演・研究発表

1. 一九八六年十一月 「八重山の歌謡（1）」那覇市中央公民館琉球文学講座

2. 一九八六年十一月 「八重山の歌謡（2）」那覇市中央公民館琉球文学講座

3. 一九八七年九月八日 「山原とおもしろさうし」第22回博物館講座（名護博物館）

4. 一九八七年十二月十五日 『おもしろさうし』を読む（沖縄労働基準局講演）

5. 一九八八年八月六日 『おもしろさうし』の記載法」おもしろ研究会20周年記念公開研究発表会（沖縄県立図書館）

6. 一九八八年八月七日 コメンテーター おもしろ研究会20周年記念シンポジウム（沖縄県立博物館）

7. 一九八九年一月二十八日 「オモロと越来・越来グスク」沖縄市郷土博物館講座（沖縄市郷土博物館）

8. 一九八九年一月三十日「沖繩の古代文学について」北谷高校国語科特設授業（北谷高校）
9. 一九八九年五月二十七日「沖繩の文学とまつり」北谷高校第14回PTA総会記念講演（北谷高校）
10. 一九八九年六月二十三日「南島の祭祀歌謡」（シンポジウム）「新南島歌謡論」基調報告「文学」（岩波書店）
11. 一九八九年七月二十七日「八重山の史歌について―アカハチの乱とオモロその他―」石垣市第4回市民講座・講演会（石垣市民会館）
12. 一九八九年九月「おもろを読む」名護市民大学（全10回）（名護市民会館）
13. 一九九〇年七月九日 コメント（嘉手苅千鶴子『大島筆記』所収の琉歌について―琉歌の諸問題―）沖繩国際大学南島文化研究所第38回シマ研究会（沖繩国際大学南島文化研究所）
14. 一九九一年五月七日「おもろ研究の現在」沖繩県立芸術大学附属研究所研究発表会（沖繩県立芸術大学）
15. 一九九一年六月七日「八重山のうた」沖繩県立博物館・第15回移動博物館―西表島―講演（大原離島総合センター）
16. 一九九一年六月十五日「八重山の神歌」沖繩県立博物館博物館文化講座（沖繩県立博物館）
17. 一九九二年六月二十日 ビデオ解説「竹富島の種取り祭」第14回沖繩・八重山文化研究会（沖繩県芸術大学）
18. 一九九二年九月九日「トウバラマーその形式と叙情」平成4年度沖繩県博物館協会学芸員・事務職員研修会講演（石垣市立図書館）
19. 一九九二年九月二十四日『おもろさうし』について「那覇東ロータリークラブ講話（ホテル西武オリオン）」
20. 一九九二年十月二十六日「沖繩の古代文学研究―この10年の神歌研究を中心に―」復帰20周年記念沖繩研究国際シンポジウム第5分科会（沖繩県立芸術大学）
21. 一九九二年十一月二十五日「御嶽信仰と文芸」沖繩県立芸術大学公開講座「沖繩文化論―沖繩の信仰と芸術―」（沖繩県立芸術大学）
22. 一九九三年七月八日 Form in Okinawa Ritual Songs 第8回オーストラリア日本学会沖繩部会（オーストラリア・ニューカッスル大学）

23. 一九九三年七月十八日『王府仕置』にみる八重山の農民」第26回沖縄・八重山文化研究会（沖縄県立芸術大学）
24. 一九九三年七月十九日「沖縄八重山の祭祀歌謡の形態」共同研究「日本文化の深層と沖縄」第2回共同研究会（京都・国際日本文化研究センター）
25. 一九九四年二月二十三日「国頭地方とオモロ」国頭・中頭地区社会教育委員連絡協議会合同研修会講演（名護青年の家）
26. 一九九四年五月二十七日「おもろを語るー恩納のオモロにふれながらー」平成6年度恩納村社会教育指導者研修会講演（恩納村コミュニティセンター大ホール）
27. 一九九四年六月十五日「久米島とオモロ」国指定史跡具志川城跡歌（おもろ）碑除幕式及祝賀会（沖縄県島尻郡具志川村字仲村渠クメシ原）
28. 一九九四年七月八日「教育フォーラム」先輩は語る」八重山高校体育館落成記念（八重山高校）
29. 一九九四年十二月八日「村の暮らしと文芸」沖縄県立芸術大学附属研究所公開講座（沖縄県立芸術大学）
30. 一九九四年十二月十八日「イザイホー・竹富島の種子取り祭りのビデオ観賞会解説」第43回沖縄・八重山文化研究会（沖縄県立芸術大学）
31. 一九九五年二月四日「沖縄の文化と歴史」第5期高齢者運動大学（真和志農場ホール）
32. 一九九五年六月十七日「雲南・アカ族の生活と文化」沖縄県立芸術大学附属研究所東南アジア民族文化調査報告会（沖縄県立芸術大学）
33. 一九九五年八月十一日「中国雲南省の少数民族の民俗」沖縄国際大学産業総合研究所研究会（沖縄国際大学）
34. 一九九五年八月十七日「琉球文学と沖縄古語」高等学校短期研究講座「高等学校国語1基礎講座」（沖縄県立教育センター）
35. 一九九五年八月二十日「中国雲南・アカ族の民俗文化」第51回沖縄・八重山文化研究会（沖縄県立芸術大学）
36. 一九九五年九月九日「オモロと首里城」第1回首里城文化講演会（メルパルク沖縄）

37. 一九九五年十一月二十六日 『おもろさうし』にみる国頭」第20回沖縄県立博物館移動博物館文化講座（国頭村総合体育館）
38. 一九九五年十二月七日 「オモロの構造」沖縄県立芸術大学公開講座 『おもろさうし』を読む」（沖縄県立芸術大学）
39. 一九九五年十二月十二日 「沖縄古語大辞典の利用法について」 沖縄県高等学校国語教育研究会（沖縄県立那覇商業高校）
40. 一九九六年七月四日 「古代沖縄の想念と文学」 テルウェル沖縄マイライフ講座講演（NTT沖縄会館）
41. 一九九六年七月二十六日 『郷土の文学』を学ぶことの意義」高等学校短期研究講座 「高等学校国語1基礎講座」（沖縄県立教育センター）
42. 一九九七年二月十五日 「琉球文学にみる思念と宗教——『おもろさうし』を中心に——」 全国家庭裁判所調査官研究協議会 in okinawa（サザンプラザ海邦）
43. 一九九七年二月二十七日 「琉球文学にみる思念と宗教——『おもろさうし』を中心に——」 沖縄自主の会定例学習会（NTT沖縄会館）
44. 一九九七年四月五日 「講演とシンポジウム—検証・八重山舞踊の今、そして未来—」 石垣市制50周年記念石垣市文化協会主催（石垣市民会館）
45. 一九九七年五月二十三日 「南島歌謡とことば—オモロの表現と構造を中心に—」 第3回沖縄研究国際シンポジウム（沖縄大会） 文学部会（沖縄県立芸術大学）
46. 一九九七年六月二十六日 「琉球文学にみる思念と宗教——『おもろさうし』を中心に——」 テルウェル沖縄マイライフ講座講演（NTT沖縄会館）
47. 一九九七年七月二十二日 『琉球国由来記』の成立と近世の沖縄」 沖縄学研究所特別講演会（沖縄学研究所）
48. 一九九七年八月二十一日 「オモロ対句部の叙述構造」 第3回沖縄研究国際シンポジウム（シドニー大会） 文学・芸能部会（オーストラリア・シドニー大学）

49. 一九九七年十月三十一日『琉球国由来記』の成立と近世沖繩の文化」歯立会講話（泊ふ頭ターミナルビル・とまりん）

50. 一九九七年十二月九日『おもろさうし』からみた首里杜御嶽」海洋博覧会記念公園管理財団首里杜御嶽研究会

51. 一九九八年一月二十二日『琉球国由来記』の説話記事」沖繩研究奨励賞受賞式記念講話

52. 一九九八年二月六日「沖繩の古代文学」国際システム社長研究会講話

53. 一九九八年三月十日「沖繩の気象と文学」南島文学からみた沖繩の気候」沖繩気象台講演会（沖繩気象台）

54. 一九九八年三月十四日『王府仕置』と近世八重山の農民」浦添市立図書館沖繩学講座「琉球の文学と芸能」（浦添市立図書館）

55. 一九九八年五月十七日『琉球国由来記』の説話記事」第81回沖繩・八重山文化研究会（沖繩県立芸術大学）

56. 一九九八年五月二十四日「玉城村のオモロ」玉城村文化協会講演会（玉城村中央公民館）

57. 一九九八年五月二十八日「浦添を謡うオモロ」浦添市教育委員会校長研修会講演（厚生年金会館「うらそえ荘」）

58. 一九九八年六月三日「古琉球の想念」オモロと『琉球国由来記』の世界から」平成10年度社会教育主事研修会・公民館主事研修会講演（沖繩県立糸満青年の家）

59. 一九九八年六月十八日「古琉球の想念」オモロと『琉球国由来記』の世界から」テルウェル沖繩マイライフ講座（NTT沖繩会館）

60. 一九九八年七月十日『おもろさうし』と現代」千葉大学国際シンポジウム1998／第1回「沖繩の新生へ向けて」千葉大学大学院社会文化科学研究科

61. 一九九八年七月十一日『おもろさうし』と現代」千葉大学国際シンポジウム1998「多元性のパラダイムを求めて」第1回「沖繩の新生へ向けて」

62. 一九九八年八月九日「オモロ（神歌）と神話・伝説・世間話——沖繩諸島——」奄美沖繩民間文芸研究会シンポジウムでパネリストとして問題提起をし、討論に参加。

63. 一九九八年十月二十一日～十二月二十三日「島中オモロを読む」玉城村文化協会文化講座（全10回）（玉城村中央公民館）

64. 一九九八年十二月十四日「八重山研究の現在」沖縄国際大学南島文化研究所第89回シマ研究会（沖縄国際大学）

65. 一九九九年一月十一日「鎌倉芳太郎収集の沖縄関係文献資料」平成10年度沖縄県立芸術大学附属研究所公開講座「鎌倉芳太郎と沖縄文化」（第2回）（沖縄県立芸術大学）

66. 一九九九年二月十一日「沖縄の御嶽・八重山の御嶽」全国竹富文化協会平成11年度「星砂の島」文化講演会（ホテル日航グランドキャッスル）

67. 一九九九年九月十二日「琉球文学にみる憑霊表現」奄美・沖縄民間文芸研究会奄美大会記念講演（沖縄県立芸術大学）

68. 一九九九年十月二十七日「琉球文学にみる憑霊表現——八重山の事例を中心に——」第96回沖縄・八重山文化研究会（沖縄県立芸術大学附属研究所）

69. 二〇〇〇年七月一日「オモロと奄美」第13回沖縄で奄美を考える会（沖縄県立芸術大学附属研究所）

70. 二〇〇一年九月二十三日「古琉球の“移動”——オモロにみる人々の動き」第4回沖縄研究国際シンポジウム「世界に拓く沖縄研究」第4分科会「文学」（沖縄県立芸術大学）

71. 二〇〇二年二月十七日「沖縄の船・航海・祭祀——八重山の事例を中心に——」沖縄・八重山文化研究会（沖縄県立芸術大学附属研究所）

72. 二〇〇二年三月二十六日「沖縄の船・航海・祭祀」第4回沖縄研究国際シンポジウムヨーロッパ大会（ドイツ・ボン大学）

73. 二〇〇二年八月四日『久米仲里旧記』にみるコスモロジー」シンポジウム「久米島の伝えてきたこと——祭祀・歌謡・伝説を中心に——」奄美沖縄民間文芸学会

74. 二〇〇三年一月三十日『おもしろさうし』の歌形」（全2回）沖縄学研究所講座（沖縄学研究所）

75. 二〇〇三年二月六日「琉球文学のあらまし」 沖縄県立芸術大学附属研究所公開講座「新しく語る琉球文学」（沖縄県立芸術大学附属研究所）

76. 二〇〇三年七月二十六日「琉球文学のなかの組踊」 平成15年沖縄学講座（浦添市立図書館）

77. 二〇〇三年八月二十二日「沖縄文化論―沖縄の言葉と信仰―」 沖縄エコツアーガイド養成講座（NPO法人沖縄

環境クラブ）

78. 二〇〇三年八月三十日「わたしたちの古見の歴史と文化」 みゆすく成人学級講座（古見公民館）

79. 二〇〇三年十月二日『おもしろさうし』の概要「平成15年度沖縄県広域学習サービス事業リカレントコース講座『おもしろさうし』を読む」（沖縄県立芸術大学附属研究所）

80. 二〇〇三年十月十四日「沖縄文化論―ことば・信仰・文学―」平和学習会「沖縄なんくるる学校」（沖縄平和ネットワーク）

81. 二〇〇三年十一月十三日『おもしろさうし』にみる古琉球の宗教・固有信仰」平成15年度沖縄県広域学習サービス事業リカレントコース講座『おもしろさうし』を読む」（沖縄県立芸術大学附属研究所）

82. 二〇〇三年十一月十八日『おもしろさうし』のなかの王権「平成15年度沖縄県広域学習サービス事業リカレントコース講座『おもしろさうし』を読む」（沖縄県立芸術大学附属研究所）

83. 二〇〇三年「鎌倉芳太郎先生と沖縄の文化」「琉球の至宝」と型絵染め」記念講演（香川県文化会館）

84. 二〇〇三年十一月二十七日『おもしろさうし』に語られる生産」平成15年度沖縄県広域学習サービス事業リカレントコース講座『おもしろさうし』を読む」（沖縄県立芸術大学附属研究所）

85. 二〇〇三年十二月4日「オモロ鑑賞」平成15年度沖縄県広域学習サービス事業リカレントコース講座『おもしろさうし』を読む」（沖縄県立芸術大学附属研究所）

86. 二〇〇三年十二月十五日「私たちの郷土と文学」『琉球文学』『新編・琉球の文学』刊行記念講演会（沖縄教育資料センター）

87. 二〇〇四年二月二十七日『久米仲里旧記』にみるコスモロジー」沖縄学研究所セミナー「新・沖縄の歴史と文化」

(沖縄学研究所)

88. 二〇〇四年二月二十八日「南島の神話・伝説・世間話と歌謡」沖縄学研究所セミナー「新・沖縄の歴史と文化」(沖縄学研究所)

89. 二〇〇四年三月十一日「沖縄文化概論―沖縄の言葉と信仰―」平成15年度家庭裁判所調査官(補) 自庁研修(海邦会館)

90. 二〇〇四年三月二十八日『おもろさうし』概説「奄美・沖縄民間文芸会公開講座「奄美・沖縄における民間文芸の可能性」(沖縄国際大学)

91. 二〇〇四年三月二十九日『おもろさうし』の記載法「奄美・沖縄民間文芸会公開講座「奄美・沖縄における民間文芸の可能性」(沖縄国際大学)

92. 二〇〇四年六月三十日「沖縄の文学―その面白さ―」沖縄語学センター定期講演会(那覇東町会館)

93. 二〇〇四年九月九日「沖縄文学概論」沖縄エコツアーガイド養成講座(NPO法人沖縄環境クラブ)

94. 二〇〇四年十月十五日『新編 沖縄の文学』の考え方「御謹話県高教組南部支部教育教育集会国語部会(沖縄県立南部農林高校)

95. 二〇〇四年十一月六日「鎌倉芳太郎先生と沖縄資料」沖縄県立芸術大学附属研究所

96. 二〇〇四年十二月八日「小浜島のあゆみと暮らし―歴史と文化の素描―」小浜島成人大学講座(小浜島公民館)

97. 二〇〇四年二月八日「八重山歌の花綵」八重山古典民謡保存会大底朝要研究所第3回発表会石垣講演(石垣市民会館)

98. 二〇〇四年五月二十八・二十九日「八重山歌の花綵」八重山古典民謡保存会大底朝要研究所第3回発表会東京公演(東京国立劇場)

99. 二〇〇五年四月二十二日「地域交流軸一考察」沖縄・奄美まちづくり交流会

100. 二〇〇五年五月二十八日「八重山民謡の歌詞の表記と発音―八重山のことばと歌詞の記載を中心に―」安室流協

和会講演会（石垣市民会館中ホール）

101. 二〇〇五年六月六日「沖繩の芸能のみなもとー村アシビから組踊へー」那覇南ロータリークラブ
102. 二〇〇五年六月十一日「鎌倉芳太郎先生と沖繩資料」（読谷村文化センター）
103. 二〇〇五年十一月十六日『おもろさうし』にみる金属文化」沖繩県立芸術大学附属研究所公開講座「琉球王国と金属文化」（沖繩県立芸術大学附属研究所）
104. 二〇〇六年三月二十五日「敵討ち物」組踊と伝承」奄美・沖繩民間文芸学会講座（沖繩国際大学）
105. 二〇〇六年九月十四日「南島歌謡の比喩表現——『おもろさうし』を中心に——」第5回沖繩研究国際シンポジウムベネチア大会（ベネチア・カ・フォスカリ大学）
106. 二〇〇六年九月二十二日『おもろさうし』の神出現の表現」國學院大學21世紀プログラム「神道と日本文化の国学的研究発信の拠点形成」フオーラム 来訪する神・降臨する神
107. 二〇〇六年十一月八日「首里城をとりまく水」地球研サテライト・シンポジウム「世界遺産・人・水」（京都・地球研講演室）
108. 二〇〇七年三月二十五日「オヤケアカハチの乱」と歌謡」奄美沖繩民間文芸学会公開講座「奄美・沖繩における歴史と伝承」（沖繩国際大学）
109. 二〇〇七年七月三十一日「今帰仁のオモロをめぐる」今帰仁城跡案内ガイド養成講座（今帰仁村文化財資料室・視聴覚室）
110. 二〇〇七年九月十七日「柳田國男・折口信夫と琉球文学研究」第18回沖繩・八重山文化研究会（沖繩県立芸術大学附属研究所図書資料室）
111. 二〇〇七年十月一日〜十一月十一日「オモロと沖繩の歴史・文化」（全6回）壺川老人福祉センター文化講座（壺川老人福祉センター）
112. 二〇〇七年十月五日『おもろさうし』に謡われた自然」沖繩県立芸術大学附属研究所公開講座「沖繩の自然と

文化」(第1回)(沖縄県立芸術大学附属研究所)

- 113 二〇〇七年十月十二日『琉球国由来記』に描かれた自然」沖縄県立芸術大学附属研究所公開講座「沖縄の自然と文化」(第2回)(沖縄県立芸術大学附属研究所)

- 114 二〇〇七年十月十四日「沖縄久高島シンポジウム」成城寺小屋講座「(島)との対話シリーズ2」(百合ヶ丘・川崎市市民ホール)

- 115 二〇〇七年十月二十六日「もう一つの沖縄―宮古・八重山の祭祀司世界」早稲田大学総合講座「沖縄学の構築」第5回(早稲田大学)

- 116 二〇〇七年十月二十七日「南島歌謡の音数律」アジア民族文化学会2007年秋季大会シンポジウム「アジアの歌の音数律」(共立女子大学講堂)

- 117 二〇〇八年二月二日「オモロからみる沖縄・八重山の歌謡」全国大工ネット講演会(アルテ崎山・赤田ギャラリーホール)

- 118 二〇〇八年三月二十六日「沖縄の航海安全祭儀―説話と歌謡から―」(久高島フォーラム)

- 119 二〇〇八年六月十五日「首里王府の祭祀とオモロ」沖縄・八重山文化研究会

- 120 二〇〇八年六月十八日『おもろさうし』にみる古琉球の御嶽」沖縄県立芸術大学附属研究所公開講座(第1回)

- 121 二〇〇八年六月二十五日「御嶽と起源伝承―『琉球国由来記』を中心に―」沖縄県立芸術大学附属研究所公開講座(第2回)

- 122 二〇〇八年七月二十日「首里王府の祭祀とオモロ」『沖縄・八重山文化研究会』191号

- 123 二〇〇八年七月二十八日「浦添・牧港とオモロ」浦添市牧港会7月例会

- 124 二〇〇八年十二月十四日「宮古・八重山の航海安全祭儀と風旗」『沖縄・八重山文化研究会』195号

- 125 二〇〇九年二月六日「アカインコの実像に迫る」アカインコフォーラム(琉球新報ホール)

- 126 二〇〇九年三月十五日「アカインコの実像を求めて」奄美沖縄民間文芸学会公開講座「奄美・沖縄の英雄伝説」(沖縄

縄国際大学5号館

127. 二〇〇九年三月二十四日「首里王府の祭祀とオモロ」〃島のコスモロジーと想像力〃研究会（東京）
128. 二〇〇九年六月六日『おもろさうし』からみた勝連文化と阿麻和利〃あまわり浪漫の会〃阿麻和利歴史講演会〃（うるま市…きむたかホール）
129. 二〇〇九年七月十五日「文学関係資料と文化財」沖縄県立芸術大学附属研究所文化講座「沖縄の文化財を知る」（第7回）
130. 二〇〇九年八月二十九日「琉球文学にみる沖縄人の心性―琉球文学の固有性をめぐって―」北米沖縄県人会創立百周年記念講演（アメリカ…ロスアンジェルス）
131. 二〇〇九年九月九日「おもろをもつと身近に、軽く手もとに―浦添オモロ―」てだこ市民大学サークルおもろいおもろ講演会（浦添市役所）
132. 二〇〇九年九月二十六日「南島の民衆生活と歌謡」韓国民謡学会・国立南道国楽院 共同 国際学術大会主催シンポジウム〃民謡と東アジアの民衆生活、そして研究の問題点〃（韓国珍島…国立南道国楽院）
133. 二〇〇九年十一月二十日「宮古・八重山の御嶽の起源伝承と祭神」早稲田大学総合講座〃沖縄学〃2009年後期（早稲田大学）
134. 二〇一〇年三月十二日「文献に見られるウタキの植物と信仰」アジアの鎮守の杜の持続保全の国際シンポジウム〃消えゆくリュウキュウマツを救え〃（知念村）
135. 二〇一〇年三月十三日「文献に見られるウタキの植物と信仰―八重山の御嶽の保全」アジアの鎮守の杜の持続保全の国際シンポジウム〃消えゆくリュウキュウマツを救え〃（石垣市健康福祉センター）
136. 二〇一〇年六月二十二日「近代沖縄の大衆娯楽文化総論」沖縄県立芸術大学附属研究所公開文化講座「近代沖縄の大衆娯楽文化」（第1回）

137 二〇一〇年七月三日『古事集』―『琉球国由来記』と『琉球国旧記』の間にあるもの― 沖縄言語研究センター
研究発表会（琉球大学）

138 二〇一〇年七月二十四日「八重山からみる宮古の文化」宮古の自然と文化を考える会

139 二〇一〇年八月二十六日「琉球・沖縄の芸能史から学ぶ」琉球舞踊研修会講話

140 二〇一〇年八月二十八日「御嶽の森の保全と歴史的文化的景観」日本景観学会石垣島大会「八重山の自然保護と
景観形成」（石垣市・健康福祉センター）

141 二〇一〇年九月二十三日「古琉球の“チヂウリ（憑霊）”2010年度奄美沖縄民間文芸学会シンポジウム「シャ
マニズムと神歌」

142 二〇一〇年十月十六日「おもろに謡われた浦添」2010年度浦添市立図書館沖縄学講座“うらそえ再発見”「浦
添の歴史と文化」（浦添市立図書館）

143 二〇一〇年十月十七日「八重山の御嶽とその歴史的文化的景観」沖縄・八重山文化研究会10月例会（沖縄県立芸
術大学）

144 二〇一〇年十月二十八日『おもろさうし』を学ぶ 浦添歯科医師会歯立会講話

145 二〇一〇年十一月十二日「沖縄文化の個性と美しさ」第14回近畿大学九州短期大学連携校研修会

146 二〇一〇年十一月十九日「八重山からみる宮古の歴史」早稲田大学総合講座「沖縄学」2010年後期（早稲田大学）

147 二〇一〇年一月二十八日「琉球文化の現状と課題―危機感をこめて―」（シンポジウム）沖縄県文化協会（沖縄
県立美術館・博物館3階講堂）

148 二〇一〇年十月二十八日「琉球文学の固有性をめぐって」法政大学沖縄文化研究所総合講座「沖縄を考える」（法
政大学サッタホール）

149 二〇一〇年十月三十日「鎌倉芳太郎の調査ノートについて」沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館「沖縄文化
の父、鎌倉芳太郎が見た戦前の沖縄」講演会

- 150 二〇一一年十一月十八日「謎からせまる『おもろさうし』」早稲田大学総合講座「沖縄学」2011年後期（早稲田大学）
- 151 二〇一一年十二月二十三日「オモロの二つの流れ―神女オモロと名人オモロ、そしてオモロ主取―」沖縄で奄美を考える会・宮古の自然と文化考える会・沖縄八重山文化研究会合同例会（沖縄県立芸術大学附属研究所3階小講堂）
- 152 二〇一二年一月二十九日「おもろの中の浦添」市民歴史講演会（浦添市ハーモニセンター）
- 153 二〇一二年三月十六日「謎からせまる『おもろさうし』」沖縄博物館友の会文化講演会（沖縄県立博物館・美術館3階講堂）
- 154 二〇一二年六月二十日「鎌倉芳太郎―琉球芸術の美を求めて―」沖縄県立芸術大学附属研究所公開講座「沖縄文化の“美”の発見者たち」（第11回）（沖縄県立芸術大学附属研究所3階小講堂）
- 155 二〇一二年八月十一日「この半世紀の琉球文学研究」琉球大学国際沖縄研究所シンポジウム「沖縄学を問い直す」（沖縄県立博物館・美術館1階講義室）
- 156 二〇一二年八月十九日『竹富方言辞典』刊行の意義と辞典の活用方法」第5回テドウンムニに親しむ集い（沖縄県立博物館・美術館3階講堂）
- 157 二〇一二年八月二十六日「古琉球の人々が見た天体」星まつり記念講演会（石垣NPOプラザ）
- 158 二〇一二年九月二日「作田節の歌詞の解釈について」琉球舞踊伝承者講習会講話（沖縄市市民会館大ホール）
- 159 二〇一二年十月十四日「鎌倉芳太郎と沖縄―鎌倉芳太郎の琉球芸術調査―」首里公民館講座（首里公民館）
- 160 二〇一二年十一月二十一日「名護市のオモロ」名護市教育委員会「市史セミナー」「名護市の芸能」第2回オモロと芸能史（名護市文化センター）
- 161 二〇一二年十二月十二日『おもろさうし』と神歌主取」那覇市文化協会琉球王朝禮楽部会主催 王府おもろ伝承百年―講演と実演―（基調講演）（沖縄県立博物館・美術館3階講堂）

- 162 二〇一四年一月十一日「南城市の神話とオモロ」南城市教育委員会主催 南城市文化講演会（南城市農村環境改善センター）
- 163 二〇一四年四月十七日「古琉球の美意識―オモロ、その他から―」沖縄県立芸術大学附属研究所文化講座〃沖縄の美意識」（第1回）（沖縄県立芸術大学附属研究所3階小講堂）
- 164 二〇一四年六月十五日『世ば稔れ』考」第239回沖縄・八重山文化研究会（沖縄県立芸術大学附属研究所2階AV講義室）
- 165 二〇一四年六月十九日「琉球文学概論―その固有性と独自性―」ペアーレ楽園・幸壽大学校（東南植物楽園）
- 166 二〇一四年八月二十三日「琉球文学について―その固有性を考える」東京沖縄県人会第2回講演会（早稲田大学大隈講堂）
- 167 二〇一四年九月二十一日『おもろさうし』に語われた宜野湾」平成26年度第4回博物館市民講座（宜野湾市立博物館）
- 168 二〇一四年九月二十九日「琉球・沖縄の文化について」（基調報告）公益財団法人東京財団シンポジウム「2014『日米欧東京フォーラム』沖縄セッション―セッション3〃沖縄その未来と過去―」（ハーバービューホテルクラウンプラザ）
- 169 二〇一四年十月二十二日「海と琉球文学」沖縄県立芸術大学附属研究所文化講座「海と琉球・沖縄の芸術文化」（第4回）（沖縄県立芸術大学附属研究所3階小講堂）
- 170 二〇一五年一月三十一日『天川』の歌詞の解釈について」琉球舞踊伝承者講習会講話（国立劇場おきなわ小劇場）
- 171 二〇一五年二月一日『前の浜』の歌詞の解釈について」琉球舞踊伝承者講習会講話（国立劇場おきなわ小劇場）
- 172 二〇一五年八月二十六日「沖縄の文化の個性と美しさ」シドニー大学日本語・日本文化学科教員講話（オーストラリア・シドニー大学日本語・日本文化学科会議室）
- 173 二〇一五年九月十二日「琉球文学を考える」韓国琉球・沖縄学会〃黒潮の海道と東アジア〃韓国釜山（国立海洋

博物館第1会議室

- 174 二〇一五年十月八日「琉球文学の全体像」ペアーレ楽園幸寿大学校講座（東南植物楽園セミナー室）
- 175 二〇一五年十月二十二日『おもろさうし』に謡われた首里城」長寿大学校講座（沖縄県総合福祉センター）
- 176 二〇一五年十二月十八日『おもろさうし』に謡われた首里城」沖縄美ら島財団「首里城講座」第3回（首里城公園首里杜館）

- 177 二〇一四年十月二日「琉球・沖縄の文化について」（基調報告）東京財団シンポジウム（ハーバービューホテル）
- 178 二〇一六年一月三十日『本貫花』『浜千鳥』の歌詞の解釈について」琉球舞踊伝承者講習会講話（国立劇場おきなわ大劇場）

- 179 二〇一五年十一月二十五日「八重山歌謡の世界」沖縄県立芸術大学附属研究所文化講座「八重山の歴史と文化」（第8回）（沖縄県立芸術大学附属研究所3階小講堂）

- 180 二〇一六年一月二十七日「鎌倉芳太郎が捉えた宮古、八重山文化の“美”」沖縄県立芸術大学附属研究所文化講座「八重山の歴史と文化」（第15回）（沖縄県立芸術大学附属研究所3階小講堂）

- 181 二〇一六年三月四日「鎌倉芳太郎が捉えた宮古、八重山文化の“美”」沖縄県立芸術大学附属研究所文化講座「八重山の歴史と文化」（第15回）（沖縄県立芸術大学附属研究所3階講堂）

- 182 二〇一六年三月十二日「私の琉球文学研究」波照間永吉教授退官記念最終講演会（沖縄県立芸術大学附属研究所3階小講堂）

CD・DVD

1. 二〇〇三年 CD 「新編 沖縄の文学」 沖縄時事出版
2. 二〇〇八年 CD 「八重山の古謡」『沖縄の古謡保存事業CD 八重山篇上』 沖縄県文化振興会
3. 二〇一二年『沖縄の古謡』（CD全8巻）（監修・編集・執筆） 沖縄県文化振興会

4. 二〇〇七年『沖縄県名護市汀間のウシデークー女の祭り…ウシデークの再興を目指して』名護市教育委員会
5. 二〇〇七年 DVD「汀間の女の祭りーウシデークの再興を目指す人々」名護市教育委員会

その他（書評・エッセイ・評論・辞典項目執筆・放送出演など）

1. 一九八三年十月「久米仲里間切公事帳（雍正本）」（翻刻）『沖繩久米島・資料篇』沖繩久米島調査委員会編（弘文堂）
2. 一九八三年十月「久米仲里間切公事帳（道光本）」（翻刻）『沖繩久米島・資料篇』沖繩久米島調査委員会編 弘

文堂

3. 一九八三年十月「久米仲里間切諸村公事帳」（翻刻）『沖繩久米島・資料篇』沖繩久米島調査委員会編 弘文堂
4. 一九八三年十月「元祖由来記」（翻刻）『沖繩久米島・資料篇』沖繩久米島調査委員会編 弘文堂
5. 一九八三年十月「久米島各集落民俗遺跡地図」『沖繩久米島・資料篇』沖繩久米島調査委員会編 弘文堂
6. 一九八五年二月「久高島の御嶽・拝所・井泉・民俗遺跡地図」『沖繩久高島調査報告書』法政大学沖繩文化研究所久高島調査委員会編 法政大学沖繩文化研究所

7. 一九八五年三月「八重山御嶽信仰習俗関係文献目録（抄）」沖繩県教育庁文化課

8. 一九八六年七月『琉球国由来記』所載御嶽名索引『日本地名大辞典 47 沖繩県』角川書店

9. 一九八八年三月「八重山御嶽信仰習俗関係文献目録」『沖繩芸術の科学』創刊号 沖繩県立芸術大学附属研究所

紀要

10. 一九八九年十一月「〈シンポジウム〉新南島歌謡論」『文学』岩波書店
11. 一九九〇年三月「オモロ反復句索引〈末尾句引き〉（試案）」『沖繩芸術の科学』第3号 沖繩県立芸術大学附属研究所紀要

12. 一九九一年三月「オモロ反復句一覧（巻別）」『沖繩芸術の科学』第四号 沖繩県立芸術大学附属研究所紀要

13. 一九九五年三月「呪言・呪謡を中心にしてみる南島文学」（座談会記録）『日本文学誌要』第51号（外間守善教授

退官記念号）法政大学日本文学会刊

14. 一九九七年「沖繩研究はいまーオモロ研究ー」『沖繩タイムス』

15. 二〇〇〇年六月『解説』八重山歌の花綵』『八重山歌の花綵―第2回発表会・那覇公演パンフレット』八重山古典民謡保存会大底朝要研究所

16. 二〇〇二年十二月「御嶽項目解説」(宮古の御嶽―漲水御嶽等全22項目―、八重山の御嶽―宮島御嶽等全22項目)『日本歴史地名大系第48巻 沖繩県の地名』平凡社

17. 二〇〇二年十二月「島項目」(宮古諸島有人島全島、八重山諸島有人島全島)『日本歴史地名大系第48巻 沖繩県の地名』平凡社

18. 二〇〇二年十二月「民俗・芸能項目」ユークイ・ウヤガン・プーリイ・川平のマユンガナシイ他『日本歴史地名大系第48巻 沖繩県の地名』平凡社

19. 二〇〇三年二月「跋」『組踊を聴く』(矢野輝雄著) (日本学術振興会出版助成申請者・波照間永吉) 瑞木書房

20. 二〇〇三年二月「索引」『組踊を聴く』(矢野輝雄著) (日本学術振興会出版助成申請者・波照間永吉) 瑞木書房

21. 二〇〇四年五月「解説」『八重山歌の花彩』、『八重山歌の花彩』八重山古典民謡大底朝要東京公演パンフレット』
八重山古典民謡大底朝要研究所

22. 二〇〇四年六月『解説』地域の懐かしい言葉・石垣島』『人間会議』2004年夏号

23. 二〇〇四年十一月「鎌倉芳太郎先生と沖繩資料(上)」『沖繩タイムス』沖繩タイムス社

24. 二〇〇四年十一月「鎌倉芳太郎先生と沖繩資料(下)」『沖繩タイムス』沖繩タイムス社

25. 二〇〇五年三月「琉球・沖繩芸能史年表総説」『琉球・沖繩芸能史年表』(第1集) 国立劇場おきなわ

26. 二〇〇六年三月「琉球・沖繩芸能史年表総説」『琉球・沖繩芸能史年表』(第2集) 国立劇場おきなわ

27. 二〇〇六年三月「玉城村関係古謡」『玉城村史』(第8巻上 文献資料編) 玉城村役場

28. 二〇〇六年三月「琉球国由来記」玉城間切関係資料』『玉城村史』(第8巻上 文献資料編) 玉城村役場

29. 二〇〇六年三月 『琉球国旧記』 玉城間切関係資料 『玉城村史』 (第8巻上 文献資料編) 玉城村役場
 30. 二〇〇七年二月 『鎌倉芳太郎の沖縄研究』 『朝日百科 人間国宝』 朝日新聞社
 31. 二〇〇七年三月 『琉球・沖縄芸能史年表総説』 『琉球・沖縄芸能史年表』 (第3集) 国立劇場おきなわ
 32. 二〇〇七年五月 『発見された紅型紋様図案帖』 『沖縄タイムス』 沖縄タイムス社
 33. 二〇〇七年十一月 『おもしろさうし』 の話―世界一のすすめ― 『本の旅人』 角川書店
 34. 二〇〇八年一月 『ウチナーンチュの心のふるさと 祈りの文化』 RBCラジオ月曜フォーラム
 35. 二〇〇八年二月 インタビュー記事 『おもしろさうし』 について 『情報やいま』
 36. 二〇〇八年二月 『書評 藤井貞和 『甦る詩学―古日本文学発生論』 続 南島集成』 『沖縄タイムス』
 37. 二〇〇八年二月 『おもしろさうし』 について RBCラジオ 「団塊花盛り」
 38. 二〇〇八年二月 「1000人のことば」 琉球放送テレビ
 39. 二〇〇八年二月 『若き芸能者たちへ』 『沖縄タイムス』
 40. 二〇〇八年三月 『八重山の古謡』 『沖縄の古謡保存事業CD 八重山篇上』 沖縄県文化振興会
 41. 二〇〇八年三月 『琉球・沖縄芸能史年表総説』 『琉球・沖縄芸能史年表』 (第4集) 国立劇場おきなわ
 42. 二〇〇八年四月 『宮城信勇著 『石垣方言辞典』 ―吉川英治賞受賞を祝す』 『沖縄タイムス』
 43. 二〇〇八年四月 『祝いのことば―宮城信勇 『石垣方言辞典』 の受賞』 『吉川英治賞平成20年度要項』 吉川英治国
- 民文化振興会
44. 二〇〇八年四月 『御嶽をめぐる心やさしき人びと』 『ピオストーリー』 9号 生き物文化史学会
 45. 二〇〇八年五月 『首里城周辺史跡めぐり―オモロと祭祀資料』 (解説) 沖縄県立芸術大学関学記念日史跡めぐり
 46. 二〇〇八年五月 『小浜島の芸能』 解説 国立劇場おきなわ自主公演
 47. 二〇〇八年五月 『途上』 の人へ 『第2回比嘉いずみの会 玉水ゆかみてい』
 48. 二〇〇八年六月 『神島沖縄と御嶽』 『読売新聞』 (西部版)

49. 二〇〇八年七月『沖縄民俗辞典』項目執筆「口説／ティルクグチ／ユングトウ」『沖縄民俗辞典』吉川弘文館
50. 二〇〇八年八月「序」『八重山古典民謡舞踊曲集 I（宮良長忠・崎山三郎編著）
51. 二〇〇八年九月 書評「当山善堂『精選八重山古典民謡集』（CD付き）」『琉球新報』
52. 二〇〇八年十月「玉城朋彦の沖縄大好き」RBCラジオ
53. 二〇〇八年十二月 NHKラジオ「私の日本語辞典」（全4回）NHKラジオ（全国版）
54. 二〇〇八年十二月「追悼 森田孫榮氏」『沖縄タイムス』
55. 二〇〇九年三月「琉球・沖縄芸能史年表総説」『琉球・沖縄芸能史年表』（第5集）国立劇場おきなわ
56. 二〇〇九年三月 書評「当山昌直・安溪遊地編『野山がコンビニー沖縄島のくらし』／盛口満・安溪遊地編『ソ
テツは恩人―奄美のくらし』」『琉球新報』
57. 二〇〇九年四月「おもしろさうしへの誘い 勝連と阿麻和利―勝連は按司を選んだ」『新風』第2号
58. 二〇〇九年五月「序文」『ミンサー全書』「あざみ屋・ミンサー記念事業」委員会
59. 二〇〇九年五月「沖縄古謡の記録」『ウチナー紀聞』琉球放送テレビ
60. 二〇〇九年六月「島人の心と目―当銘貞夫さんの御著書を推薦する」『アメリカに生きる』序文 自家版
61. 二〇〇九年七月「鎌倉資料の果たした役割」『琉球絵画展図録』沖縄文化の杜
62. 二〇〇九年九月「宇根由基子先生の『うむい積重』―に寄せて」『宇根由基子 祝八十五歳生年／芸歴六〇年記
念公演 うむい積重』光扇会宇根由基子八重山民俗舞踊研究所第十一回発表会「うむい積重」記念公演実
行委員会
63. 二〇〇九年十月「午の方千瀬の海鳴りを聞きながら」『コーラルウェイ』JTA（日本トランスオーシャン航空）
機内誌
64. 二〇〇九年十一月「八重山民謡『規矩』の書」当山善堂『精選八重山古典民謡集』（第二巻）序文 有限会社ティ
ガネシア

65. 二〇〇九年十一月 辞典項目「竹富島の種子取り・小浜島の芸能・ジュリウマ・沖縄の綱引き・沖縄の民俗芸能」
『祭り・芸能大辞典』朝倉書店
66. 二〇〇九年十二月 「高嶺久枝さんの『琉球芸能の源流を探索』によせて―アマミク神話是如何に舞踊化されるか―」
『高嶺久枝芸道40周年記念／高嶺久枝の会 琉球芸能の源流を探索』
67. 二〇〇九年十二月 「報告」芸術教育の現状と展望―沖縄県立芸術大学」日中芸術教育シンポジウム（主催…東京芸術大学・精華大学美術院（中国））
68. 二〇一〇年一月 「後田多敦著『琉球の国家祭祀制度―その変容・解体過程―』」『沖縄タイムス』
69. 二〇一〇年二月 「高橋恵子著『沖縄の年中行事 方法と供え物御願のグイス』」『沖縄タイムス』
70. 二〇一〇年三月 「琉球・沖縄芸能史年表（戦後篇）総説」『琉球・沖縄芸能史年表』（第6集）国立劇場おきなわ
71. 二〇一〇年三月 「あとがき」『琉球・沖縄芸能史年表（古琉球く近代）』国立劇場おきなわ
72. 二〇一〇年六月 「八重山の本―八重山とその研究を知る本―」『沖縄タイムス』
73. 二〇一〇年九月 「具志忍さんへの期待―『若華の美風く華のともえく』によせて―」『若華の美風く華のともえく』琉球舞踊太圭流
74. 二〇一〇年九月 辞典項目「ウシデーク」「クイチヤー」「組踊り」「チョンダラ」「沖縄民謡」「南島歌謡」「民俗小事典 神事と芸能」吉川弘文館
75. 二〇一〇年十月 「芸術教育の現状と展望―沖縄県立芸術大学」『日中芸術教育シンポジウム』東京芸術大学
76. 二〇一〇年十一月 「八重山の御獄とその歴史的文化的景観」『沖縄・八重山文化研究会会報』（第216号）沖縄・八重山文化研究会
77. 二〇一一年二月 「島村修『八重山の自然を守る』」『沖縄タイムス』
78. 二〇一一年二月 「E TV特集 深く掘れ 己の胸中の泉 沖縄学のまなざし」NHK（全国放送）
79. 二〇一一年二月 「跋」『竹富方言辞典』南山舎

80. 二〇一一年九月「沖繩の祭り」NHK沖繩放送局
81. 二〇一一年十月「大城公男『八重山鳩間島民俗誌』『沖繩タイムス』」
82. 二〇一一年十二月「高嶺美和子さんへの期待」『第一回高嶺美和子の会 出羽』高嶺美和子芸道25周年記念公演
会実行委員会
83. 二〇一一年「紙芝居 おきなわの始まり」（翻案…波照間永吉、絵…ローゼル川田）
84. 二〇一一年「紙芝居 察度王の物語」（翻案…波照間永吉、絵…ローゼル川田）
85. 二〇一二年二月「八重山芸能で談ダン・島興し」（パネルディスカッション・コーデイネイター）第3回沖繩感性・文化産業シンポジウムinやいま（石垣市民会館大ホール）
86. 二〇一二年三月「地域言語保存のために―『竹富方言辞典』を例として―」『沖繩タイムス』
87. 二〇一二年三月「勝連のクニ」「アガルイに向かて」「伊祖の戦思い」「堂井泉」「海は親物」「煽り立つシマ」「隼鳥の船」「世添いの御腰」「江洲グスク」「ガサスの若太陽」『おもしろ研究会1500回記念おもしろを歩く』琉球書房
- 念 おもしろを歩く』琉球書房
88. 二〇一二年三月「あとがき」『おもしろ研究会1500回記念おもしろを歩く』琉球書房
89. 二〇一二年四月「追悼 前新透先生」『琉球新報』
90. 二〇一二年五月「當山善堂さんの壮拳を仰ぐ」『精選八重山古典民謡集全巻刊行記念「八重山の歌と踊り」精選八重山古典民謡集全巻刊行記念「八重山の歌と踊り」実行委員会
91. 二〇一二年五月「花ひらく八重山舞踊の精華」『沖繩タイムス』
92. 二〇一二年五月『竹富町史 第二巻 竹富島』『沖繩タイムス』
93. 二〇一二年五月「鏡色のなより―なより花輝て―へ」『第三回 比嘉いずみの会 鏡色の舞い―なより花輝て』
比嘉いずみの会
94. 二〇一二年六月「追悼 高橋俊三先生」『沖繩タイムス』

95. 二〇一二年七月「仲程昌徳『南洋紀行』の沖縄人たち」『沖縄文化』113号 沖縄文化協会
96. 二〇一二年八月『竹富町史 第三巻 小浜島』『沖縄タイムス』
97. 二〇一二年八月「創作への意志―島袋君子先生の踊り―」『第7回君子の舞台―創作の伝承と発展』
98. 二〇一二年八月「大底朝要さんのご逝去を悼む」『八重山毎日新聞』
99. 二〇一二年九月「大田静男『夕風の島』」『沖縄文化』114号 沖縄文化協会
100. 二〇一二年十一月「黒島精耕『ダートトゥーダ探訪の旅―小浜島民俗歌舞の源流をたどる―』」『八重山毎日新聞』
101. 二〇一二年十一月「大田静男『とうばらーまの世界』」『沖縄タイムス』
102. 二〇一二年十一月「喜舎場慶子さんの新しい旅立ち」『喜舎場慶子芸歴45周年独演会 虹綾の舞』（パンフレット）
103. 二〇一二年十一月「祖先の魂、謡い鳴響まささ」『沖縄古謡 謡い鳴響まささ』（パンフレット）
104. 二〇一二年十一月「小島瓊禮『歌三弦往来―三弦音楽の伝播と上方芸能の形成』」『沖縄文化』112号 沖縄文化協会
105. 二〇一二年十一月「おきなわ文化教室」講師 沖縄県立芸術大学移動大学 in たらま
106. 二〇一二年十一月「外間守善先生を悼む」『琉球新報』
107. 二〇一二年十二月「外間守善さんを悼む」『読売新聞』（西部版）
108. 二〇一二年十二月「外間守善先生を偲ぶ―先生の沖縄」『沖縄タイムス』「外間守善人と研究」（上）
109. 二〇一二年十二月「大城立裕『自伝琉歌集 命凌ぎ坂』」『沖縄タイムス』
110. 二〇一二年十二月「外間守善先生を偲ぶ」『朝日新聞』（全国版「悼む」欄）
111. 二〇一二年「紙芝居 多良間島の世界の始まり」（翻案…波照間永吉、絵…ローゼル川田）
112. 二〇一三年二月『聞得大君誕生』を観る』『国立劇場おきなわステージガイド華風』公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団
113. 二〇一三年三月「聞得大君誕生」（演目解説）『国立劇場 第十六回琉球芸能公演 新作組踊と琉球舞踊』独立行政法人日本芸術文化振興会

- 114 二〇一三年三月「花開く八重山舞踊の精華」『国立劇場おきなわステージガイド華風』公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団
- 115 二〇一三年六月「伊波普猷のおもろ研究と浦添おもろ」平成25年度沖縄学講座第1回 浦添市立図書館
- 116 二〇一三年六月「おもろさうし」の世界」放送大学専門科目「人間と文化」(全8回) 放送大学沖縄学習センター(琉球大学内)
- 117 二〇一三年九月「琉球文学の視点から観る古典芸能の魅力」第3回国立劇場おきなわ県外公演 名古屋徳川美術館
- 118 二〇一三年十月「おもろさうし」入門」平成25年度那覇市首里公民館成人講座(全6回 毎週水曜日) 首里公民館
- 119 二〇一三年十月「古琉球の人々が見た天体」星空ガイド養成講座 石垣少年自然の家
- 120 二〇一三年十月「沖縄文化に鎌倉芳太郎が果たした役割」平成25年度高松市民大学 高松市生涯学習センター
- 121 二〇一三年「紙芝居 久米島の神様のお話」(翻案…波照間永吉、絵…ローゼル川田)
- 122 二〇一四年二月「末次智『琉球宮廷歌謡論―首里城の時空から』『沖縄文化』115号 沖縄文化協会
- 123 二〇一四年二月「池宮正治先生のお仕事」『琉球新報』
- 124 二〇一四年四月「『竹富町史 第5巻 新城島』『沖縄タイムス』
- 125 二〇一四年五月「大城立裕『聞得大君誕生』の背景をよむ」『国立劇場おきなわステージガイド華風』公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団
- 126 二〇一四年五月「澤井真代『石垣島川平の宗教儀礼―人・ことば・神―』『沖縄文化』116号 沖縄文化協会
- 127 二〇一四年五月「クロストーク…鎌倉芳太郎が記録した琉球・沖縄―(高草茂氏・波照間永吉)」沖縄県立博物館・美術館講堂
- 128 二〇一四年六月「『世ば稔れ』考」『沖縄・八重山文化研究会報』239号 沖縄・八重山文化研究会
- 129 二〇一四年六月「『麗しの琉球の記憶』―鎌倉芳太郎が発見した『美』展に寄せて」『沖縄タイムス』
- 130 二〇一四年九月「ヨイヤーの香り―八重山の祝儀の思い出」『コーラルウェイ』(2014年9・10月号 通巻154

号 風車号) JTA (日本トランスオーシャン航空) 機内誌

- 131 二〇二四年十月「間宮厚『沖縄古語の深層—オモロ語の探究—』『増補版』『沖縄タイムス』
- 132 二〇二四年十一月「宮城能鳳先生の至藝」『第九回宮城能鳳独演会』『至藝の美』第九回宮城能鳳独演会『至藝の美』
実行委員会
- 133 二〇二四年十一月「南西諸島水中文化研究会編 片桐千亜紀・宮城弘樹・渡辺美季『沖縄の水中文化遺産—青い海に沈んだ歴史のかげら—』『沖縄文化』117号 沖縄文化協会
- 134 二〇二四年十一月「居駒永幸『歌の原初へ—宮古島狩俣の歌謡と神話—』『沖縄文化』117号 沖縄文化協会
- 135 二〇二四年十二月「沖縄文化教室」第7回沖縄県立芸術大学移動大学 in 伊良部島 宮古島市伊良部小学校
- 136 二〇二四年「英雄豊見親の鱗退治 伊良部の海を守った人」(翻案…波照間永吉、絵…ローゼル川田)
- 137 二〇二四年「紙芝居 ものを言う魚の話 海の精霊ユナタマ」(翻案…波照間永吉、絵…ローゼル川田)
- 138 二〇二五年「紙芝居 オモト山の神様と暴れん坊ハツガネ」(翻案…波照間永吉、絵…ローゼル川田)